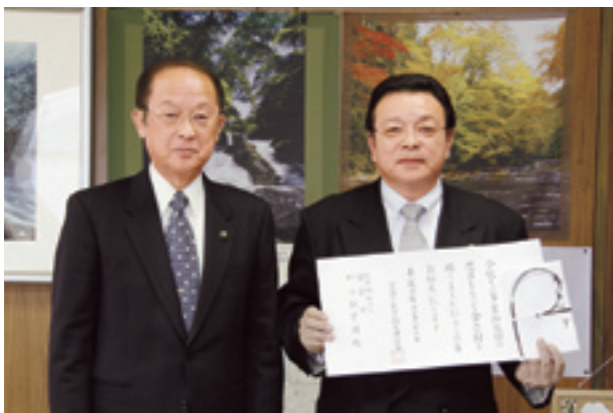


12/21 (火) 御下賜金の拝受を報告

知的障害者更生施設「社会福祉法人 菊愛会 わらび学園」が、天皇陛下から天皇誕生日に際し社会福祉事業奨励のため、優良民間社会福祉施設・団体に対して下賜される御下賜金を拝受されました。式典終了後、最上太一郎施設長は福村市長を表敬訪問し、御下賜金を拝受したことを報告しました。



報告に訪れた最上太一郎施設長（右）

12/20 (月) 稗方「嫁とり祭り」

稗方区の伝統行事である「嫁とり祭り」が、座元である柴田昭博さん宅で行われました。300年以上前から続く行事で、7つの座組みで毎年持ち回りとなっています。五穀豊穰・家内安全・子孫繁栄を祈願しており、婿役・嫁役が決められ、仮の結婚式を行うユニークな祭りです。庭先に敷かれた「ねこぼく」の上で行われ、最後は神官が「この結婚式は、ねこぼくの上まで」と告げると、見物客の笑いを誘いめでたく終了しました。



右奥が婿役、左奥が嫁役

12/17 (金) 手作りの「赤米」で友情の輪を広げよう

菊池北小学校（宇野達也校長）の子どもたちが県庁を訪れ、授業で育てた赤米を山本隆生県教育長へ贈りました。6月の田植えに山本教育長が参加したお礼に、子どもたちが贈ったものです。

また、近隣の迫水小学校、龍門小学校、水源小学校へも赤米を届けました。同小とは、同じ中学校へ進学するだけでなく、修学旅行に合同で行くなど交流があり、今回初めて贈られました。



山本教育長（左）へ赤米を手渡す児童たち

12/16 (木) ジュニアボランティア結成式

女子高校生だけで組織するジュニアボランティアの結成式が菊池警察署で行われました。菊池高等学校、菊池女子高等学校、菊池農業高等学校から推薦された30人や関係者などが出席。甲斐警察署長が「女子高生だけのボランティアは県内で初めての結成です。毎月1日の安全安心きくちの日や各学校で着用して、防犯を呼びかけてほしい」とあいさつ。「高校生として、わたしたちにできることを考えて実践することを誓います」と誓いの言葉を述べました。



ジュニアボランティアとして活動する女子高生たち

12/22 (水) 赤十字救援車が配備されました

新しい赤十字救援車が配備されることになり、本庁正面玄関前で日本赤十字社熊本県支部から永田副市長へ目録が手渡されました。この車は、災害時の救護資材、救援物資の輸送等の災害救護活動や社資募集などの赤十字事業に関する業務に使われます。



副市長へ目録が手渡されました

12/22 (水) 旭志中学校「一人暮らしの人」へ花配付

旭志中学校の生徒が、地元の70歳以上で一人暮らしの人94人に花を届けました。自治公民館長の指導のもと行われ、10月から育てた桜草を一つひとつ手渡すと、一人暮らしのお年寄りに大変喜んでいただきました。



花を受け取り喜ぶお年寄り

12/19 (日) 街灯清掃・点検ボランティア

あとげき会（河上会長）の会員14人と菊池警察署が協力して、隈府地域の街灯清掃を行いました。年末のすす払いとボルトなどの点検を兼ねて行われたもので、今回で3回目になります。隈府地域の街灯は菊池一族の家紋である揃い鷹の羽がデザインされています。河上会長は、「安全安心に『明るい』をつけて、明るい安全安心なきくちを目指したいですね」と話し、街灯の汚れを丁寧に拭き取っていました。



街頭の汚れを拭き取る会員

12/18 (土) 菊池の伝統守り狂言披露

菊池北小学校の6年生33人が、養護老人ホームふじのわ荘で狂言を披露しました。同小学校では子どもたちが狂言を学んでおり、当日は「柿山伏」と「附子」を披露しました。入所者の人たちは、子どもたちが演じる山伏や使用人などの動作にくぎづけとなり、大きな声で笑ったり、真剣な様子で見つめていました。狂言の後、子どもたちは肩もみなどをして入所者と触れ合い、楽しい時間を過ごしました。



主人と使用人のやりとりをおもしろく表現した附子の一場面